

# お元気ですか



市立長浜病院  
医療技術局長 新川 由基

## 新型コロナウイルス検査について

当院では、月々金の午前中にドライブスルー検査センターを開設し、開業医から依頼があった患者さんや当院救急外来での発熱患者さんに対し、新型コロナウイルス検査を行っています。ドライブスルー検査センターは、県内の新型コロナウイルス検査体制強化のために令和2年6月より当院敷地内に開設・運用しています。新型コロナウイルス検査を院内で行うことで、より早く患者さんに結果をお返しできるようになりました。

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

市立長浜病院中央検査技術科で行っている新型コロナウイルス検査には、「核酸増幅検査」と「抗原検査」があり、鼻咽頭や鼻腔の粘液や唾液を採取して行います。PCR法に代表される核酸増幅検査は、ウイルス遺伝子を増幅させて検出することで、ウイルスの有無を確認する検査で

す。ウイルスの検出感度は非常に高いですが、結果報告までに時間がかかります。複数ある核酸増幅検査の中から、当院では、比較的短時間で結果を報告し検体採取から結果報告まで約2時間できる、LAMP法を採用しています。

抗原検査とは、ウイルスの抗体を用いてウイルスが持つ特有のタンパク質(抗原)を検出する方法です。抗原検査には、簡易キットを用いた定性検査と大型の自動分析装置を用いた定量検査があります。当院では、検出感度が高い定量検査を採用しています。検体採取から1時間以内に結果を報告できることから緊急検査に対応でき、24時間測定が可能です。

「ウイルス遺伝子の検出」と「抗原の検出」という異なる新型コロナウイルス検査を採用したことで、症状や緊急度を考慮しながら状況に適した検査方法が選択できるようになりました。これからも皆さんにより早く、精度の高い検査結果をお返しできるよう、検査体制の強化と検査の質の向上に努めてまいります。

問 市立長浜病院  
68・2300(代表)

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

### 長浜市指定文化財

- ①「板絵著色繫馬図絵馬」(江戸時代)  
所有者：大円寺(高月町高月)  
指定日：平成17年3月31日指定
- ②「板絵著色曳馬図絵馬」(江戸時代)  
所有者：日吉神社(高月町唐川)  
指定日：平成17年3月31日指定

絵馬は、神仏への祈願あるいは報謝のしるしとして、神社や寺院に奉納される絵が描かれた木製の板のことです。今回紹介する絵馬2面は高月地域に伝わるもので、いずれも黒毛の馬が描かれており、江戸時代前期に奉納されたものです。①は、左右に立てた杭に縄でつながれた馬が、右後方を振り返る聡明で静かな姿を描いています。これに対し、②は、水干に烏帽子姿の2人の舎人が、前に進む馬の差す縄を引いて押さえよう



▲①板絵著色繫馬図絵馬

としている躍動感にあふれた構図です。いずれも、下地に金箔を押しした本格的な絵馬ですが、作者は不明です。①は寛永17年(1640)、当地出身とみられる紀伊国現和歌山県の住人が奉納したことがわかる記載があります。②は寛文12年(1672)に奉納されたものですが、残念ながら奉納者はわかっていません。

大円寺観音堂、日吉神社赤後寺とも、観音菩薩を本尊とする寺院で、広く信仰を集めてきました。2面とも、筆力の強さ、すぐれた表現力などから、市内に多く伝存する絵馬の中でも、特に指定文化財となっており、先人の祈りを今日に伝えるこれらの絵馬は、民衆の信仰や、地域の歴史・風俗を知るの上でも貴重な文化遺産といえます。



▲②板絵著色曳馬図絵馬

問 高月観音の里歴史資料館  
(85・2273)

## ●広報ながはまに関するご意見 (今後、特集を希望するテーマ)

年齢 歳 ( 男性 ・ 女性 )

※担当課からの返事をご希望の場合は、氏名・ご住所・連絡先(電話・メールなど)をご記入ください。

## ●市政に関するご意見

## ながはまの自然 不思議発見!

### エピソード 9 異色のタンポポ

市内の自然の不思議や、そこに住む様々な生き物の面白い生態などを紹介します。



▲シロバナタンポポ

桜や菜の花など春を代表する花々の中で、最も身近な存在の一つがタンポポではないでしょうか。庭や道端に咲く黄色い花や、綿毛を付けた姿など誰もがなじみのある草花です。タンポポが黄色い花であることは広く知られていますが、白い花のタンポポがあることを皆さんはご存知ですか。白いタンポポは「シロバナタンポポ」といい、姿かたちは普通にみられるタンポポそっくりですが、花の中心部分が黄色いだけで花びらのほとんどが白く、目を引きま

西日本を中心に生え、滋賀では湖南地域や湖西地域で比較的多く見られますが、長浜ではびわ湖湖北地域の湖岸、長浜市街の国道8号線沿線で見つかったりしません。生えている場所では、非常にたくさん見られますが、それ以外のところには全く生えておらず、偏った分布をしています。これはシロバナタンポポが、他のタンポポに比べ、種の部分が大きく、靴の裏や、自動車のタイヤについて運ばれて広がっているからではないかと考えられています。人の手によって少しずつ広がっている異色のタンポポ、皆さんの身近でも咲いているかもしれません。この春はぜひタンポポに注目してみてください。

問 湖北野鳥センター  
(79・12009)